

農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表
【管理業務の実施状況】

施設名	農業拠点施設
指定管理者名	株式会社あびへじ
指定管理期間	令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日
モニタリング期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

評価…**5点**：評価の視点を満たしており、特に優れた成果が出ている。 **4点**：評価の視点を満たしており、優れた成果が出ている。

3点：評価の視点を満たしている。 **2点**：評価の視点を満たしているとはいえないが、取り組みは見られる。 **1点**：評価の視点を満たしているとはいえず、取り組みが見られない。

総合評価…S（特に優れている）：市評価と各選考委員評価の平均得点が5 A（優れている）：市評価と各選考委員評価の平均得点が4以上5未満

B（普通）：市評価と選考委員評価の合計得点が3以上4未満 C（不十分である）：市評価と選考委員評価の平均得点が2以上3未満

D（全く不十分である）：市評価と選考委員評価の合計得点が2未満

※各評価項目を事業計画書・収支計画書・協定書・事業報告書・実地調査の結果及び事業報告確認書に基づき以下の評価の視点で評価しました。

評価項目		評価の視点	指定管理者 評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	各選考委員 平均評価	選考委員会意見	市と各選考委員 評価平均点	総合評価
事業の実施に 関する業務	法令順守	必要な体制の構築や研修を実施し、スタッフや出荷者が管理・運営に必要な法令を遵守する体制を整えているか。	3	・労働基準法に基づく労務管理改善に向け、評価制度の導入による評価を実施している。 ・社会保険労務士の指導に基づき、スタッフを雇用している。 ・食品衛生法その他関係法令を遵守している。	3	事業計画書等に記載のとおり、関係法令を遵守している。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	農産物販売	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、利用促進や顧客確保に努めているか。	3	・農産物フェアの実施により、農産物の旬をアピールすることができ、売上増に繋がった。 ・あびこエコ認証キャンペーンに協賛し、エコ農産物の買い上げが増え、出荷も増えた。 ・継続的なキャッシュレス化（クレジットカード、電子マネー）を推進し、顧客の利便性を高め、利用促進を図った。 ・委託業者からの魅力的な商品を導入することで、顧客ニーズに対応した。	3	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保に向けた取り組みが見られる。また、昨年度と比較し、収入を増加させたこと及び昨年度より収支がプラスとなったことを評価したい。	3.0	キャッシュレス決済の利用継続を行いながら、リピーターも確保できるよう、キャッシュレス決済者にもポイントを付与する検討をしていただきたい。	3.0	B
	加工品販売 開発・製造	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、利用促進や顧客確保に努めているか。	3	・農産物フェア時に、旬食材を使った加工品を多く製造し、売り上げに繋がった。 ・菓子部門では、メインメニュー製造の隙間時間にミニスイーツ製造販売で顧客満足度を上げ、売り上げ増に繋がった。 ・地元野菜を使用した惣菜や野菜じざを継続販売し、顧客確保に繋がった。 ・千葉県産業振興センター専門家派遣の受け入れて人気商品の姉妹品作りに着手した。	3	事業計画書に記載のとおり、加工品の販売や開発・製造に取り組んでいる。また、昨年度と比較し、収入を増加させたこと及び昨年度より収支がプラスとなったことを評価したい。 また、専門家による指導を受けている中で、現在の商品の製造方法やコスト見直しを図ると共に、顧客確保に向けて我孫子産農産物を活かした魅力ある商品開発を期待する。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	飲食施設	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、利用促進や顧客確保に努めているか。	3	・農産物フェアでは、特別メニューを提供し、季節感を出すことに努めた。 ・全てのメニューについて、オーダー後に調理することにより、顧客満足度の向上に努めた。 ・ティータイムを充実させるため、デザートメニューや地元食材での季節のドリンク（柚子茶、梅ジュース、紫蘇ジュース、トマトスムージー）を増やし、顧客満足度の向上に努めた。 ・度重なる材料費の高騰により一部価格の改定をし、収支状況の改善を図れた。 ・旬の野菜を使用した日替わりメニューを提供した。	3	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保に向けた取り組みが見られる。 また、昨年度と比較し、光熱費や物価高騰の影響もある中、収入を増加させたこと及び昨年度より収支がプラスとなったことを評価したい。 併設の飲食施設である強みを活かし、より消費者ニーズにあったメニューの提供と効果的な集客施策の展開を期待する。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	学校給食	各小中学校の栄養士に対して旬な野菜の情報発信を行う等利用促進に努めているか。また、給食以外にも食育の取り組みに努めているか。	3	・異常気象や夏の猛暑ではあったが、安定的に食材提供できた。 ・給食コーディネーターによる「地元野菜紹介（毎月）」と「旬の野菜情報」により、市内小中学校に情報発信した。 ・定期的な給食4者会議を実施し、課題点の改善を図った。 ・市内小学校へ「我孫子の農業について」の講演をして食育活動に努めた。	3	事業計画書等に記載のとおり、旬な野菜の情報発信などを行い、利用促進や我孫子産野菜の安定供給に努めている。 また、昨年度と比較し、収入を増加させたこと及び昨年度より収支がプラスとなったことを評価したい。 さらに、食育授業により、旬な野菜の情報発信をしていた「とうもろこしの皮むき」、「そら豆のさやむき」の体験が実施できたことは評価したい。	3.2	温暖化による異常気象・猛暑にかかわらず、安定した食材の提供。我孫子の農業の方向性の指導に力を入れたことを評価する。 気候の影響等により納入数量は減っているが、納入金額は前年を上回っていた。食育・体験学習に積極的に協力されていたことを評価している。	3.2	B
	イベント	事業計画書等に記載されているイベントまたはそれに代わるイベントで、農家と市民の交流や顧客確保に努めているか。	3	・あびこん農業体験交流事業を継続させ、消費者との交流を深め、農業への関心を持ってもらった。 ・外部主催イベント（桜まつり、Enjoy手賀沼、大正ロマンウォークin手賀沼、JBFF、全国農協観光協会体験交流ツアー、農業まつり等）に積極的に連携を行い、あびこんをPRした。 ・創業祭で農家による軽トラ市販売を実施し、消費者との交流を図った。 ・レイソル我孫子ホームタウンデーに我孫子農産物の出店販売を行い、市外の方々にもあびこんをPR発信をした。	3	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保に向けた取り組みが見られる。体験農園事業により、農家と市民の交流が図れたことは評価したい。また、出荷農家による農産物直売会（軽トラ市）等のイベントが実施できたことは評価したい。新規顧客の発掘を図るためにも、直売所の特徴を活かしたイベントの開催を期待したい。	3.4	各種団体とのイベント開催、下田黒船祭りへの共催、あびこん創業祭（軽トラ市）等各種イベントの開催等、農家と市民との交流を行われたことを評価している。	3.3	B
	情報発信	事業計画に記載されている内容またはそれに代わる方法で、我孫子の農業のPRや利用者には有益な情報を発信するよう努めているか。	3	・TBSテレビ朝の情報番組「ザ・タイム」の取材に協力した。放送2/11（火） ・出荷農家の情報交換会と懇親会の開催を行った。 ・WEBサイト（HP、インスタグラム、フェイスブック等）で適宜情報発信し、周知を図った。 ・毎月他店農産物の価格調査を行い、出荷農家に対し一覧表を配布し参考にした。	3	事業計画書等に記載のとおり、適宜情報発信を行っている。SNSや店内POPなどで、旬な野菜の情報など積極的に発信したことは評価したい。より積極的なホームページの活用を強化を期待する。	2.8	レジ通過者の人数減への対策の検討が必要と考える。 良い事業を実施しているので、情報発信を積極的に行い、新規顧客を増やす努力をしていただきたい。	2.8	C
	経費縮減	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、経費縮減に努めているか。	3	・適正なシフト管理やマルチスタッフ化で、人件費の削減に努めた。 ・直売所では仕入れ品の厳選と仕入れ量の適正化に努め、廃棄ロスを削減した。 ・米無事では、ロスが出ないように適正仕込み量のチェックリストを作成・運用し、ロスを削減した。 ・電気ガスの使用量を抑え、光熱費の増大を抑えた。 ・備品購入時には見積合わせを実施し、良質で安価な商品を購入した。	3	事業計画書等に記載のとおり、一般経費の縮減に努めており、高騰した光熱費への対策、仕入れの改善やシフトの適正化など経費縮減の取り組みが行われたことで、全体収支の黒字化に繋がっていることは評価したい。部門に捉われず柔軟にスタッフを配置するなど、より無駄の無いシフトを組み、適正な経費とすることを期待する。	3.2	全ての部門で収支が黒字となるなど、適正な経費縮減が図られていると思います。	3.2	B
利用者への 対応業務	市民平等	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、市民の平等な利用の確保に努めているか。	3	・登録農家以外にも積極的に声掛けを実施し、農業者の公平な利用に努めた。 ・ポイントカードの継続導入により、消費者還元を平等に行った。 ・直売所部門では、通路を広くして車椅子の利用を可能とした。 ・レストラン部門では、子ども用の椅子や食器を用意し、幅広い年齢層の利便性を考慮した。	3	事業計画書等に記載のとおり、市民の平等な利用の確保に取り組んでいる。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	ニーズ把握	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、消費者ニーズを把握しサービスに反映するよう努めているか。	3	・直売所でお客様の要望（取り置き、取り寄せ等）にできるだけ応えた。 ・各部門にご意見箱を設置することで、顧客ニーズを収集し、サービスに反映した。 ・直売所及び米無事では、接客で気付いた点の日誌への記録や聞き取った内容を朝礼等での周知により、スタッフ間で情報共有し、改善に繋がった。	3	事業計画書等に記載のとおり、ニーズの把握に努め、サービスに反映している。朝礼等で接客で気になった点をスタッフと共有するなど、会社全体で求められるサービスの向上を図っていく取り組みができたことは評価したい。より多くの利用客に満足してもらえる施設となるように、アンケート内容への具体的な対応を期待する。また、積極的なアンケート実施を行い、ニーズ把握に努めてほしい。	3.0	アンケートだけでなく、売上内容の分析からもニーズ調査をしていただきたい。（そこでこそニーズが見えてくるのでは。）	3.0	B
	苦情対応	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、苦情に適切に対応できるように努めているか。	3	・苦情の把握と対応フロー図に基づき、迅速かつ適切に対応した。 ・対応した内容は、朝礼及び昼礼でスタッフ間で情報共有し、反映した。	3	事業計画書等に記載のとおり、対応する体制が整っている。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	利用料金	我孫子手賀沼親水広場の設置及び管理に関する条例に基づき、出荷者から公平・公正に利用料を得ているか。	3	・適正に利用料金の処理を実施した。	3	事業計画書等に記載のとおり、利用料金を適正に徴収している。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B

農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表
【管理業務の実施状況】

評価項目		評価の視点	指定管理者 評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	各選考委員 平均評価	選考委員会意見	市と選考委員会 評価合計点	総合評価
維持設 管及 業理 び 務に設 関備 す るの	危機管理	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、危機の予防と事後に対応できる体制が整っているか。	3	・コロナはら類に移行したが、あらゆる感染症予防のために、店内各所に消毒液の設置、買 い物かごや発券機の定期的な消毒をした。 ・レストランでは、店内席の間隔を広く取る、換気を良くするなど予防対策をした。 ・消防及び震災等の避難訓練マニュアルを作成し、体制を整えた。 ・緊急時の連絡体制を確立している。	3	事業計画書等に記載のとおり、緊急事態に対する予防策や対応できる体制を整えている。 緊急時の連絡対応がしっかりと取れるように、訓練の実施をお願いしたい。	3.2	消防・災害等の避難訓練マニュアル作成並びに体制整備の実行。	3.2	B
	衛生管理	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、食品の安全性を確保できる体制が整っているか。	3	・HACCPの考えに基づく衛生管理を各部門で実施した。 ・食品を扱う部門では、食材を電解水で洗浄した。 ・食品を扱う部門では、日常作業の中で消毒の徹底、作業衣（エプロン、ヘア キャップ等）着衣の徹底した。 ・全部門においてスタッフの健康管理は、健康管理表で継続的に管理した。	3	事業計画書等に記載のとおり、衛生管理を適切に行っている。 スタッフや出荷者への衛生面の指導を行い、より安全・安心な施設となるよう に対応したことは評価したい。	3.2	HACCPに沿った衛生管理の実行、各部門にあった消毒等の衛生管 理の実行。コロナ等各種ウイルス対策の実施に努めてもらいたい。	3.2	B
	備品管理	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、備品を適切に管理できる体制を整えているか。	3	・あびこで購入した備品（什器）について、備品台帳で管理した。 ・市から貸与された備品についても適切に管理した。 ・備品の在庫をこまめにチェックし、不要な購入を控えた。	3	事業計画書等に記載のとおり、備品を適切に管理している。引き続き適切な 備品管理に努めていくことを期待する。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	清掃	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、施設の清潔な状態の維持できる体制を整えているか。	3	・作成した清掃マニュアルに基づき清掃を行った。 ・清掃スタッフを雇用し、直売所やレストラン店内の清潔を保持した。 ・加工室（Ⅰ、Ⅱ）や飲食厨房は現場スタッフにて毎日行った。	3	事業計画書等に記載のとおり、施設が清潔な状態となるよう清掃を行ってい るため、今後も継続的な清掃管理に努めてほしい。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
そ の 他	市民の雇用 市内業者の 活用	事業計画書に記載されている市民の雇用機会創出や中 小企業の受注機会の確保のために、我孫子市民の雇用 や市内業者の活用に努めているか。	3	・市民雇用者 84％（44名中37名）を雇用した。 ・市内商業者 46％（61軒中28軒）	3	事業計画書等に記載のとおり、積極的に市民の雇用と市内業者を活用してい る。引き続き雇用や取引を新規で行う際は、積極的な市民の雇用、市内業者 の活用をお願いしたい。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	人材配置	事業の規模に適した健全な収支体制を維持できる適正 な人員を確保しているか。	3	・シフトによる適材適所を考慮したローテーション制を実施し、適宜人材 配置の見直しを行った。 ・スタッフのマルチ化を図り、労働力ロスを改善した。 ・学生バイトを雇用し、天候に併せた柔軟な雇用を実現した。	3	事業計画書に記載された計画に沿った人員を配置しているが、業務の効率化 と合わせて適正な人員数を適宜見直していくことを期待する。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	人材育成	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる 方法で、人材育成に努めているか。	4	・若手就農者の農業技術向上のため「持続可能な農業を考える」勉強会を企画 し、座談会及びベテラン農家の園遊見学会を実施した。 ・講師を招いて、社員研修「社員の心得」の実施。スタッフリーダー研修「5S研 修」の実施をした。 ・新人スタッフ研修で「座学」研修を実施した。 ・スタッフの情報共有と意識向上のため各部門の連携会議を定期的に実施した。	3	事業計画書等に記載のとおり、研修計画に沿って人材育成を図っている。ス タッフだけでなく、出荷農家に目を向けて、勉強会を実施したことは評価し たい。マルチスタッフ化を進めているが、今後も社内全体でのマルチスタッ フ化を活性化することを期待する。	3.4	スタッフ研修並びにスタッフ連携会議の実施。若手農業従事者に対 し、農業技術向上のため（持続可能な農業考える）研修会等を積極 的に開催していることを評価したい。	3.3	B
	個人情報	事業計画書に記載されている個人情報保護方針の策定 またはその他の方法で、個人情報を保護できる体制が 整っているか。	3	・外部委託を行いネットワークセキュリティの強化を図り、情報漏洩が無 いよう対策を行った。 ・PCに関しては、取り扱い者を限定した。 ・ペーパー類の情報は施設可能な保管庫で保管した。	3	事業計画書等に記載のとおり、個人情報の保護体制を整えている。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	連携体制	事業計画書に記載されているとおり、市民団体や農業 者組織、行政と連携した事業の取り組みに努めている か。	5	・市内小学校と連携して、「我孫子の農業について」の講演を実施した。 ・農業まつり実行委員として、他団体と連携し、農業まつりを盛り上げられた。 ・全国農協観光協会と連携して農業体験交流事業を実施した。 ・あびこ型「地産地消」推進協議会と連携し、連絡協議会の実施や学校給食の食材提 供を行った。また、「ちびっこ餅つき大会」に協力して盛り上げられた。 ・住み良いまちづくり研究所と連携し、「あびこ桜まつり」を盛り上げられた。 ・じゃぶじゃぶ池利用者へのサービス向上のため、キッチンカー（かき氷）と連携を 図り配置した。 ・川村学園女子大学と連携し「あびこまち活フェス」で我孫子産野菜の提供した。 ・活カレプロジェクトと連携して「ぬまカレー」開発に向け連携を行った。 ・奥手賀ツーリズムと連携して市外小学校販売体験の受け入れをした。	4	事業計画書等に記載のとおり、各団体と連携した事業の取り組みがみられ る。近隣小学校との連携を強化し、食育に関する様々な取り組みができたこ とは評価したい。今後も市民交流や顧客確保を効果的に推進できるように、 より積極的な連携を期待したい。	3.6	年間通して各種団体との連携体制を取った行事を開催した。経営コ ンサルとの毎月の経営会議の開催や、あびこ型「地産地消」推進協 議会との連絡協議会の毎月開催、山階鳥類研究所の活動支援のための 募金箱の設置等の連携を評価する。 市内小学校で農業についての講演を行うなど、食育活動に努めた。 夏場のじゃぶじゃぶ池周辺でのキッチンカーの配置は市民に喜ばれ る取り組みである。	3.7	B
平均点			3.1	平均点	3.0	平均点	3.1	平均点	3.1	

指定管理者選考委員会総評

全体を通して、事業年度計画書の記載内容に沿った取り組みを年々詳細に実行できてきている。また、事業成績は、事業収入が前年度比107％増収、収支においても前年度比439％と大きく伸びている。事業年度を経るに従い、確実に各項目の目標を積み重ね、目標を積み上げていると感じる。政府の従来の減反政策による農業政策は転換期を迎えざるを得ない中、農家のこれからのコメ政策においては未知の時代に入る可能性が高いと思われることから、引き続きあびこんを中心とした直売にも力を入れてもらいたい。

事業計画に沿って各事業が実施されている。また、コスト管理により経営の向上を図り、黒字に繋げている。各組織、団体と連携した取り組みに努めていたことを評価している。

前年度より各部門ほぼ全て上回り、努力を感じます。令和7年度も更に各部門が上昇するよう期待している。